

# 外国語活動学習指導案

指導者 : 柏木 美樹子 / 大西 宏典 / 間瀬 翔太

- 1 日 時 平成 年 月 日 (木)  
 2 場 所 ハピネスルーム (A棟3階)  
 3 学年・学級 第6学年  
 4 単 元 名 「Lesson7 We are good friends. オリジナルの物語を作ろう」  
 5 単元について

## 〈子どもの実態〉

- ・明るく素直で穏やかな児童が多く、外国語の活動に興味をもってチャンツやゲームに取り組んでいる。
- ・英語の発音に興味をもち、ALTやDVDの教材の発音を良く聞いて、積極的に活動している。

## 〈教師の願い〉

- ・世界のいろいろな国の物語を通して、言語や文化の違いに、より興味をもてるようにしたい。
- ・簡単な英語表現や、オリジナルの場面を考える活動を通して、自分の考えや思いを伝えることの楽しさを感じさせたい。
- ・1年生に物語を見せるという目標で、伝える喜びを感じ、活動に対し意欲的に取り組ませたい。

## 〈目標〉

- ・英語を使ってオリジナルの物語をつくり演じながら、友だちと積極的に関わろうとする。【コ】
- ・オリジナルの物語を作り演じる中で、ジェスチャーや動作を加えて表現しようとする。【慣】
- ・世界には様々な物語があることを知るとともに、世界の物語に興味をもとうとする。【気】

## 〈学習方法・支援〉

- ◎簡単な英語表現でもジェスチャーや表情を積極的に示していくことで相手に伝わる英語を意識して学習を進めていく。
- ・気持ちの良い関わり合いができるように、5つの英語スローガンを意識させる。
- ・辞書やタブレットを活用し子どもたちが自主的に活動に取り組めるようにする。

## 〈学習材 (教材)〉

- ・和英辞書
- ・タブレットPC
- ・場面挿絵 (桃太郎)
- ・英語スローガン
- ・既習の英語表現一覧表
- ・アイデアシート
- ・画用紙 (挿絵用)

## 〈学習環境〉

- ・国語科や図工科と連動させ、他教科との繋がりの中で学習を進めていく。
- ・辞書やタブレットを子どもたちが自由に使えるよう環境を整える。

## 6 単元の評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界のいろいろな国の物語の英語表現を考え、演じるための練習を通して、友だちと積極的に関わり合い、またALTに尋ねたり答えたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界のいろいろな国の物語の英語表現を覚えて、楽しんで友だちやALTと会話をしている。</li> <li>・物語を伝えるのに必要な英語表現の単語や英文を知り、見る人にとって伝わるような英語表現を使っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界のいろいろな国の物語を聞いて興味をもち、その国々の文化の違いについて気付いている。</li> </ul>

7 単元の指導計画・評価計画 (10時間扱い、本時は6/10)

【育てたい力】・コミュニケーションへの関心・意欲・態度【コ】

・外国語への慣れ親しみ【慣】

・言語や文化の気付き【気】

時	○目標	・学習活動 (学習する語句や文)	評価の観点		
			コ	慣	気
1 HT	○教師が英語で演じる物語を見て、それが何の物語なのかをあてるクイズに友だちと取り組むとともに、世界のいろいろな国の物語を知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ What's that?</li> <li>・ Look!</li> <li>・ Take care.</li> <li>・ Thank you. See you.</li> </ul>			○
2 HT	○英語での「桃太郎」のあらすじや台詞の繰り返しを進んで聞く。 ○自分たちが発表で演じてみたい物語を友だちと相談して考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ What's that?</li> <li>・ Look!</li> <li>・ Take care.</li> <li>・ Thank you. See you.</li> </ul>	○	○	
3 HT	○自分たちが発表で演じてみたい物語の場面分けや役割を考え話し合っている。 ○物語で使う英語表現に慣れ親しむ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ What's that?</li> <li>・ Look!</li> <li>・ Take care.</li> <li>・ Thank you. See you.</li> </ul>	○	○	
4	○自分たちが発表で演じる物語の場面分けや役割を考え、そこでつかう英語表現に慣れ親しむ。 ○物語の英語表現やジェスチャーなどについてグループで話し合っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ What's that?</li> <li>・ Look!</li> <li>・ Take care.</li> <li>・ Thank you. See you.</li> </ul> ※選択した物語によって学習する語句や文が変わってきます。	○	○	
5 HT	○ALTからのアドバイスを生かして、物語で使う英語表現に慣れ親しむ。 ○物語の英語表現やジェスチャーなどについてグループで話し合っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ What's that? ・ Take care.</li> <li>・ Look! ・ Thank you. See you.</li> </ul> ※選択した物語によって学習する語句や文が変わってきます。	○	○	
6 本時 HT	○オリジナルの場面についてグループで話し合っている。 ○既習の英語表現や、調べた簡単な英語表現とジェスチャーを組み合わせ、オリジナルの場面を作る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ What's that? ・ Take care.</li> <li>・ Look! ・ Thank you. See you.</li> </ul> ※選択した物語によって学習する語句や文が変わってきます。	○	○	
7	○オリジナルの場面を入れた物語を演じながら、様々な英語表現に慣れ親しむ。(リハーサル)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ What's that? ・ Take care.</li> <li>・ Look! ・ Thank you. See you.</li> </ul> ※選択した物語によって学習する語句や文が変わってきます。		○	
8	○オリジナルの場面を入れた物語発表したり、他のグループの発表を見たりして、友だちと積極的に交流を楽しんでいる。(クラス発表)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ What's that? ・ Take care.</li> <li>・ Look! ・ Thank you. See you.</li> </ul> ※選択した物語によって学習する語句や文が変わってきます。	○		
9	○クラス発表での反省やアドバイスを生かして、よりよい発表になるように友だちと話し合い、英語表現を練習する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ What's that? ・ Take care.</li> <li>・ Look! ・ Thank you. See you.</li> </ul> ※選択した物語によって学習する語句や文が変わってきます。	○	○	
10 HT	○聞こえてくるたくさんの英語の中から、必要な言葉を聞き取り、物語の楽しさが分かる。(学年発表)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ What's that? ・ Take care.</li> <li>・ Look! ・ Thank you. See you.</li> </ul> ※選択した物語によって学習する語句や文が変わってきます。	○		

## 8 本時の授業計画

### (1) 目標

- オリジナルの場面について積極的にグループで話し合う。
- 既習の英語表現や、調べた簡単な英語表現とジェスチャーを組み合わせ、オリジナルの場面を作る。

### (2) 観点別評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
・これまで練習してきた物語に入れるオリジナルの場面をグループでアイデアを出し合い積極的に話し合っている。	・既習の英語表現や、辞書やタブレットを使って調べた簡単な英語表現とジェスチャーを組み合わせ、オリジナルの場面で使う英語表現に慣れ親しんでいる。	

### (3) 展開 (6/10)

学習活動 ◇評価 【観点】〈方法〉	教師の働きかけ
	H T
1. あいさつする。 ○Let's say hello to ○○ sensei. ○I'm fine. (happy, great...) 状態で挙手 (Raise your hand.) ○It's November 17th. ○It's Thursday. ○It's sunny. (cloudy, rainy)	○Let's start today's lesson. ○Hello, everyone. ○How are you?  ○What is the date today? ○What day is it? ○How is the weather?
2. 前時にとった自分たちの演じるビデオを見ながらふりかえりを行う。	・英語のスローガンが達成できているかに注目して振り返るよう声をかける。
物語にオリジナルの場面を入れよう。	
3. オリジナルの場面を考える上でのルールを確認する。  4. 物語作りをする。 ◇オリジナルの場面についてグループで話し合っている。 【コ】〈行動観察〉  ◇既習の英語表現や、調べた簡単な英語表現とジェスチャーを組み合わせ、オリジナルの場面を作っている。 【慣】〈行動観察〉	・結末に大きく影響が出ないような場面にするこことや、誰が見ても嫌な気持ちにならない場面にするこなどを伝える。  <div style="border: 2px solid black; padding: 5px;">             ◎簡単な英語表現でもジェスチャーや表情を組み合わせることで相手に伝わる英語になることを実感し、友だちと積極的に協力しながら活動に取り組めるようにする。              ・自主的な活動につながるように、辞書やタブレットを子どもたちが自由に使える環境を整える。           </div>
5. 作ったシーンとその前後を発表する。	○Good job. ○Very good!
6. 本時の感想や次時の目標を振り返りシートに書く。	○Let's review today's lesson.
7. あいさつする。 ○Let's say thank you to Mase sensei. ○Thank you , Mase sensei.	○Did you enjoy today's lesson? ○You're welcome.

## 準備

- ・和英辞典
- ・タブレットPC
- ・アイデアシート
- ・画用紙（挿絵用）
- ・既習の英語表現一覧表

## 9 評価

【コ】・オリジナルの場面についてグループで積極的に話し合っているか。

【慣】・既習の英語表現や、簡単な英語表現とジェスチャーを組み合わせ、オリジナルの場面で使う英語表現に慣れ親しんでいるか。